

記載例 31-1 遺族補償一時金請求書（法第 36 条第 1 号該当）

様式第 23 号

受給権者が複数いる場合、全
員からの請求書が必要

遺族補償一時金請求書
遺族特別支給金申請書
遺族特別援護金申請書
遺族特別給付金申請書

1号紙

		認定 番号	0000-0000		
地方公務員災害補償基金東京都支部長 殿 下記の遺族補償一時金（遺族特別支給金） （遺族特別援護金）を請求 （遺族特別給付金）を請求 （申請）します。		請求（申請）年月日 平成 29 年 4 月 4 日 請求（申請）者 の住所 東京都〇〇区〇〇町 1-1-1 氏名 九段 昭 九段 死亡職員との 続柄又は関係 父			
1 死 関 連 す る 職 員 事 項	所属団体名 東京都	所属部局名 〇〇局〇〇部			
	氏名 九段 桜 昭和61年 5 月 1 日生（30 歳）	職 名 <input checked="" type="checkbox"/> 常 勤 主 事 <input type="checkbox"/> 令第 1 条職員			
	負傷又は 発病の年月日 平成 28 年 10 月 15 日	死 年 月 日 平成 28 年 10 月 15 日			
2 遺族補償一時金（遺族特別給付金）請求（申請）額の計算					
遺族補償年金（遺族特別給付金）が支給されていた場合					
年金の受給権者で あった者の氏名	年金証書の番号	支給された年金額の合計	支給された特別給付金額の合計		
	第 号	円	円		
	第 号	円	円		
	第 号	円	円		
計		円	円		
支給月の属 する年度	総務大臣が 定める率(A)	遺族補償年金		遺族特別給付金	
		支給された年金額(B)	(B) × (A)	支給された給付金額(C)	(C) × (A)
年度		円	円	円	円
年度		円	円	円	円
年度		円	円	円	円
年度		円	円	円	円
年度		円	円	円	円
年度		円	円	円	円
年度		円	円	円	円
計		円(D)		円(E)	
遺族補償年金前払一時金が支給されていた場合					
支給年月日	支給された前払一時金 の額(F)	総務大臣が定める率(G)	(F) × (G)		
年 月 日	円		円(H)		
支給された遺族補償年金等の合計(D) + (H)					円(I)
受給権者（支給を受ける者）の氏名		生年月日	死亡職員との続柄又は関係		
九段 昭		昭和37年 10 月 1 日	父		
九段 和子		昭和37年 11 月 1 日	母		
		年 月 日			
		年 月 日			

〔注意事項〕 別紙参照。

別紙「平均給与額算定書」で算定した額

(遺族補償一時金の額)		
(平均給与額) (乗すべき数(ア)) (I)		
(11,555 円 × 1,000 - 円) × $\frac{1}{2}$ =	5,777,500 円	
	(受給権者の数)	
(遺族特別給付金の額)		
(a)		
(平均給与額) (乗すべき数(ア)) (E)		
(11,555 円 × 1,000 × $\frac{20}{100}$ - 円) × $\frac{1}{2}$ =	1,155,500 円	
	(受給権者の数)	
(b)		
(乗すべき数(イ)) (E)		
(1,500,000 円 × $\frac{1,000}{365}$ - 円) × $\frac{1}{2}$ =	2,054,794 円	
	(受給権者の数)	
3 遺族補償一時金の請求金額	5,777,500 円	
4 遺族特別支給金 申請金額	遺族特別支給金 (総額) 3,000,000 円 × $\frac{1}{2}$ = 1,500,000 円 (受給権者の数)	遺族特別援護金 (総額) 18,600,000 円 × $\frac{1}{2}$ = 9,300,000 円 (受給権者の数)
5 遺族特別給付金の申請金額	1,155,500 円	

6	振込み	振込先金融機関名	〇〇銀行 〇〇支店	* 決定金額	一時金	円
		<input checked="" type="checkbox"/> 普通預金 <input type="checkbox"/> 当座預金			特別支給金	円
		口座番号	9876543		特別援護金	円
		預金名義者	九 段 昭		特別給付金	円
			合計		円	
	送金小切手	受取先金融機関名	銀行 支店		* 通 知	平成 年 月 日
そ の 他			* 支 払	平成 年 月 日		
* 受 理		平成 年 月 日				

請求者本人の口座を記入

銀行に届けている口座名義を正確に記入